



このたびは弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書をご覧になり、本製品を使用する準備をしてください。使用上のご注意は、必ずお読みください。

お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

はじめに添付品を確認してください

万一、欠品などがございましたら、ご購入元にご連絡をお願いします。

なお、記載している添付品とは別に、注意書きの紙などが入っている場合があります。添付品および注意書きの紙などは大切に保管してください。

標準添付品

- | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 本製品本体 | <input type="checkbox"/> AC アダプタ | <input type="checkbox"/> 電源ケーブル |
| <input type="checkbox"/> 取扱説明書（本書） | <input type="checkbox"/> 保証書 | <input type="checkbox"/> フット×2 |
| <input type="checkbox"/> リカバリディスク | | |

カスタムメイド添付品（選択された構成により添付されます）

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> USB マウス（光学式） | <input type="checkbox"/> USB マウス（レーザー式） |
| <input type="checkbox"/> 抗菌マウス（光学式） | <input type="checkbox"/> USB キーボード |
| <input type="checkbox"/> 抗菌キーボード | <input type="checkbox"/> DP→DVI 変換ケーブル |
| <input type="checkbox"/> DP→VGA 変換ケーブル | |
| <input type="checkbox"/> マウントキット（取り付け金具、つまみネジ×4 個、小ネジ（#2）×4 個） | |
| <input type="checkbox"/> 保証拡張規定 | <input type="checkbox"/> ドライブスディスク |

VMware および VMware Horizon は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の商標または登録商標です。
Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士通株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

マニュアルについて

● 取扱説明書（本書）

本製品の設置、接続、セットアップ、リカバリまでを説明しています。

● 製品ガイド

本製品のハードウェア、ソフトウェア全般にわたっての使い方の説明や技術情報、廃棄・リサイクルについて記載しています。

● 機能別マニュアル

カスタムメイドで選択した機能をはじめ、特定の機能について説明しています。

マニュアルは、改善のため変更することがあります。

上記のマニュアルは、インターネットで最新版を公開しています（マニュアルのほか、お使いになるうえでの注意事項を公開しています）。

<https://www.fmworld.net/biz/fmv/support/fmvmanual/>

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」（→ P.5）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品は、お客様が通常お使いになるうえで最適な環境になるよう各種設定を行って出荷しています。

弊社出荷時の状態からマニュアルに記載されていない設定を変更したり、Windows のレジストリ情報を変更したりすると、変更内容によっては、仕様上の性能が発揮できなくなる場合や、有寿命部品の劣化が早まる場合がありますので、設定を変更せずにお使いいただくことをお勧めします。

保証書について

保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。

・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。

・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。

・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。

・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをとり、保管しておいてください。

・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

使用許諾契約書（ライセンス条項）

本製品にインストール、または添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、ご同意いただくことを使用の条件とさせていたいただいている「ソフトウェアの使用条件」は、本製品の内部ストレージに格納しています。

セットアップ時にご同意いただいた後に再度ご覧になりたい場合は、「エクスプローラー」→「PC」内の「OEMULA.rtf」を検索してください。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。

データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日頃からバックアップをとられることをお勧めします）。

有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、空調のある通常のオフィス環境において1日約8時間、1ヶ月で25日のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、臭いの発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。
- ・1日8時間以上の連続運転等で早期に部品寿命を迎えた場合、修理に応じられない場合があります。

<主な有寿命部品一覧>

フラッシュメモリディスク、キーボード、マウス、ACアダプタ

24時間以上の連続使用について

- ・本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

無線 LAN について 5GHz 帯のチャンネルについて

IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax 準拠の無線 LAN を搭載した機種では、5GHz の周波数帯において、次のチャンネルを使用できます。

- ・ W52 : 36(5,180MHz)/40(5,200MHz)/44(5,220MHz)/48(5,240MHz)
- ・ W53 : 52(5,260MHz)/56(5,280MHz)/60(5,300MHz)/64(5,320MHz)
- ・ W56 : 100(5,500MHz)/104(5,520MHz)/108(5,540MHz)/112(5,560MHz)/116(5,580MHz)/120(5,600MHz)/124(5,620MHz)/128(5,640MHz)/132(5,660MHz)/136(5,680MHz)/140(5,700MHz)/144(5,720MHz)

5GHz 帯を使用する場合は、上記チャンネルを利用できる無線 LAN 製品との通信が可能です。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジー

2.4 FHSS

- ・上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式として FHSS 変調方式を採用しており、干渉距離は 80m です。
- ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 - (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ご購入元へお問い合わせください。
- ・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・本製品と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し 10m 以内です。ただし、Bluetooth® ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・航空機内での使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

無線 LAN について

2.4 DS/OF 4

- ・上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DSSS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、干渉距離は 40m です。
- ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 - (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ご購入元へお問い合わせください。

・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。

・ワークステーション本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a 準拠では見通し 15m 以内、IEEE802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠では見通し 25m 以内、IEEE 802.11n 準拠、IEEE 802.11ac 準拠、IEEE 802.11ax 準拠では見通し 50m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。

・IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。

・本製品に内蔵の無線 LAN 搭載機種を 5.2/5.3GHz 帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません（法令で許可された場合を除く）。

・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

・アドホック通信は対応していません。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っていません。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示)

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

本製品は電気・電子機器の特定の化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質>の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。本製品における特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
<https://www.fmworld.net/biz/fmv/jmoss/>

本製品の有線 LAN インターフェースを、直接、電気通信事業者の回線（例：インターネットサービスプロバイダーが提供している通信網サービス等）に接続するためには、電気通信事業法による技術基準適合認定の取得、または電気通信事業者の検査による許可が必要ですので、ご注意ください。




クラス 1 レーザ製品 IEC 60825-1:2014
クラス 1 レーザ製品の国際規格である (IEC 60825-1) に準拠しています。

危険ラベル／警告ラベル／注意ラベル




本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。


	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。


安全上のご注意


本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。


■ 設置／準備


警告


 コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながる恐れがあります。


 梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。


 台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

 転倒防止の処置をしてください。地震が発生した場合などに、本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。設置台や床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。


 振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。本製品が倒れたり落下して、けが、故障の原因になります。

 本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。火災の原因になります。


 矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。火災の原因となることがあります。

 **本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。**


ケーブルに足を引っかけて転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因になります。

 **添付もしくは指定された以外の AC アダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の AC アダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。**


感電、火災の原因になります。

 **電源ケーブルや AC アダプタは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。**

不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。


 **タコ足配線をしないでください。**

感電、火災の原因になります。


 **電源プラグにアース線が付いている場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。**

安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因になります。


アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ方に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

 **アース線はガス管には絶対に接続しないでください。**


火災の原因になります。

 **濡れた手で電源ケーブルや AC アダプタを抜き差ししないでください。**

感電の原因になります。


 **ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。**

発熱して、火災の原因になります。


 **本製品を強く押し下ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりしないでください。**

本製品が落ちたり、ぶつかったりして、けがや故障の原因となります。


注意

 **本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。**

感電、火災の原因になることがあります。


 **本製品や AC アダプタを直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。**

感電、火災、故障の原因になります。


 **本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。**

電源ケーブルや AC アダプタが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。


- ・電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- ・接続されたケーブルなどを外してください。
- ・作業は足元に充分注意して行ってください。

 **稼動部で指をはさまないようにしてください。**

けがの原因となります。

 **パソコンやディスプレイの取り付け、取り外しを行うときは、指をはさんだり、ぶつかけたりしないように注意してください。**


けがの原因となることがあります。

 **指定のディスプレイやパソコン以外は、本製品に取り付けしないでください。**


本製品が落下して、けがの原因となることがあります。

■ 使用時

警告

 **火中に投入、加熱しないでください。**
発煙・発火・破裂の原因になります。

 **端子をショートさせないでください。**
感電、火災の原因になります。

 **発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。**

異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルやACアダプタを抜いてください。

バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電、火災の原因になります。



本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかたりしないでください。

本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



排気孔付近やACアダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接接触して使用しないでください。

排気孔からの送風に長時間あたらないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。低温やけどの原因になります。



風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。

感電、火災の原因になります。



本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。

水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。



使用中の本製品やACアダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがらないでください。

通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。



ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。

本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。

誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。



ACアダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。

感電、火災の原因になります。



ACアダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因になります。修理は、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



電源ケーブルやACアダプタが傷ついている場合は使用しないでください。

感電、火災の原因になります。



電源ケーブルやACアダプタの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

感電、火災の原因になります。



ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

感電、火災の原因になります。



ACアダプタ本体にケーブル類をきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。

ケーブル類の芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因になります。



電源ケーブルやACアダプタを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

ケーブル類が傷つき、感電、火災の原因になります。

無線 LAN、Bluetooth®ワイヤレステクノロジーの注意

次の場所では、無線通信機能を停止してください。無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

- ・病院内や医療用電子機器のある場所
特に手術室、集中治療室、CCU（冠動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- ・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- ・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- ・身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
- ・満員電車の中など付近（15cm）に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所

レーザー式マウスは底面から、目に見えないレーザー光が出ています。

クラス1 レーザ製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。

注意

本製品の上に重いものを置かないでください。

けがの原因となることがあります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。

- ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- ・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- ・いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
- ・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- ・キーボードやマウスは、肘の角度が90度以上にならないように使用する。

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザー光が出ています。

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

■ メンテナンス／増設

警告

お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。

けが、感電、火災の原因になります。修理や点検などが必要な場合は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お客様の手の届く所に置かないでください。

誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

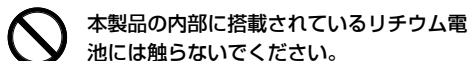
カバーおよび可動部を開ける場合は、お客様の手が届かない場所で行ってください。作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。お客様が手を触れると、けが、故障の原因になります。

メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあげる場合は、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後、しばらくたってから行ってください。

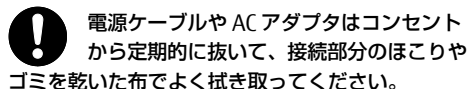
カバーをあげた状態で電源ケーブルをコンセントに挿し込んだり、電源を入れたりしないでください。やけど、感電、火災の原因になります。

清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

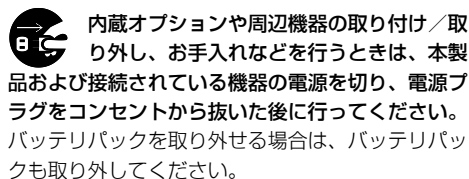
故障・火災の原因となります。



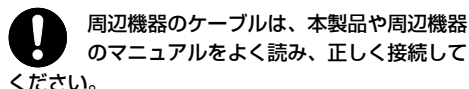
本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。
取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。



電源ケーブルやACアダプタはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。

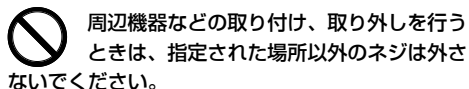


内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。

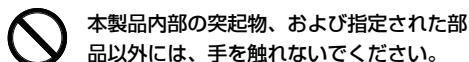


周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因になります。

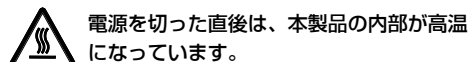
⚠️ 注意



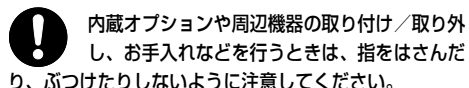
周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。



本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手を触れないでください。

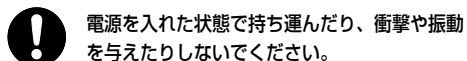


電源を切った直後は、本製品の内部が高温になっています。
メモリや拡張カードなどの内蔵オプションを取り付け／取り外す場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、十分に温度が下がるのを待ってから作業を始めてください。
やけどの原因になります。

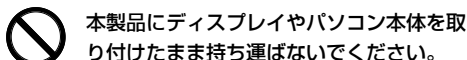


内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。

けがの原因になります。



電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。

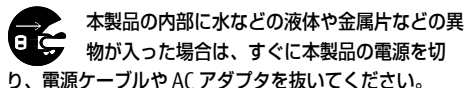


本製品にディスプレイやパソコン本体を取り付けたまま持ち運ばないでください。

けがの原因となることがあります。

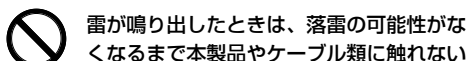
■ 異常時

⚠️ 警告



本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルやACアダプタを抜いてください。

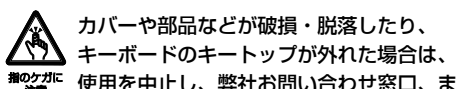
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

落雷の可能性のある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による故障、感電、火災の原因になります。

⚠️ 注意



カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキートップが外れた場合は、

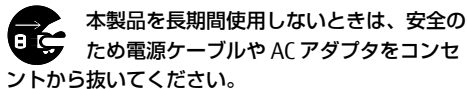
使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。

特にお子様がいる場合はご注意ください。

■ 保管／廃棄

⚠️ 注意



本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。

バッテリーパックや乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。火災の原因になります。



本製品（付属品を含む）の廃棄について
は、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。本製品にはリチウム電池を使用しております。一般のゴミといっしょに火中に投げられると電池が破裂するおそれがあります。使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

使用上のご注意

本製品をお使いになるうえでは、「安全上のご注意」（→P.5）もあわせてご覧ください。

製品本体取り扱い上の注意

故障の原因となりますので、次の点に注意してください。

- 極端に温度変化が激しい場所での使用および保管は避けてください。
- 電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、30 秒以上待ってから電源を入れてください。また、スリープ状態に移行した場合、電源ランプが白色に点滅してから 10 秒以内は、マウスやキーボードを操作したり、電源ボタンを押したりしないでください。
- BIOS のパスワードを設定するときは、設定したパスワードを忘れないよう注意してください。BIOS の管理者パスワードを忘れた場合、再設定には修理が必要となります。
- 「システムのプロパティ」ウィンドウの「詳細設定」タブで、「パフォーマンス」の「設定」の項目は、初期設定のままお使いください。
- 周辺機器は、弊社純正品をお使いください。

落雷のおそれがあるときの注意

落雷の可能性がある場合は、製品の電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておくことをお勧めします。また、雷が鳴り出したら、製品本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類ありますが、製品の故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。製品の場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、電話線（モジュラーケーブル）、LAN ケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても本製品を保護できないことがあります。

場合によっては、製品本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷による製品本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

使用・設置

使用、設置に適さない場所

- 極端に高温または低温になる場所
- 直射日光のあたる場所
- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所
- 車、飛行機、船など、輸送機器への設置
- 湿気やほこり、油煙の多い場所
- 風呂場、シャワー室などの水のかかる場所
- 腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所
- 通気性の悪い場所
- 火気のある場所
- 台所などの油を使用する場所の近く
- テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所
- 電源ケーブルなどのケーブルが足に引っかかる場所
- 次の温湿度条件の範囲を超える場所
 - ・動作時：温度 10～35℃ / 湿度 20～80%RH
 - ・非動作時：温度 10～60℃ / 湿度 20～80%RH
- 結露する場所

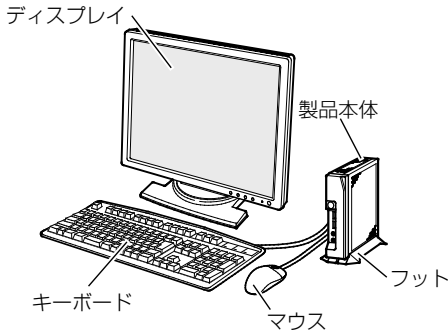
結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。製品を温度の低い場所から温度の高い場所、または温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、製品本体内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したまま製品を使用すると故障の原因となります。製品を移動したときは、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

設置する

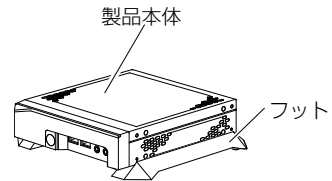
マウントキットを使用しない場合

■ 設置例

縦置き



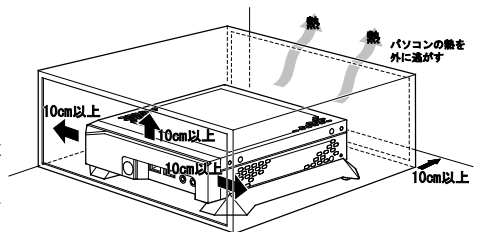
横置き



(周辺機器、ケーブル類は省略しています)

■ 設置時の注意

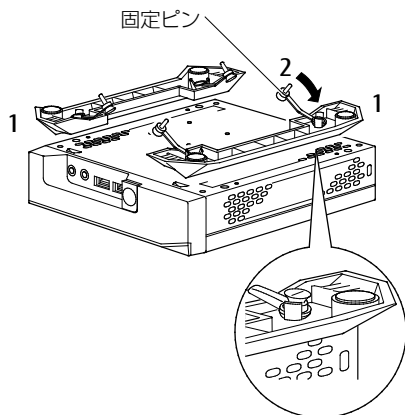
- 製品本体から排気した熱が周辺にこもらないように次の点に注意してください。
 - ・製品本体と壁の間に図で示すようなすき間を空けてください。
 - ・製品本体の通風孔をふさがないでください。
 - ・ラック収納時は、製品本体前面および背面をふさがないでください。
ラックに収納する場合は、右の図を参考にしてください（縦置き、横置きとも）。
- 本製品の上には、ディスプレイなど物を置かないでください。
- 本製品を移動させるときは、引きずらず、手で持ち上げてください。フットが破損することがあります。



■ フットを取り付ける

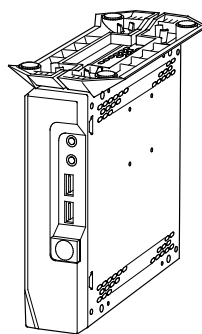
□ 横置きの場合

- 1 製品本体の底面を上にして置き、フットの突起を製品本体の穴に合わせて差し込みます。
- 2 固定ピンを指で押し込みます（4箇所）。



□ 縦置きの場合

- 1 製品本体の底面を上にして置き、フットの突起を製品本体の穴に合わせて差し込みます。
- 2 横置きの場合の手順 2 と同様に固定ピンを指で押し込みます（4箇所）。



「接続」へ進んでください。

■ マウントキットを使用する場合

■ 設置時の注意

● 取り付けられるディスプレイ

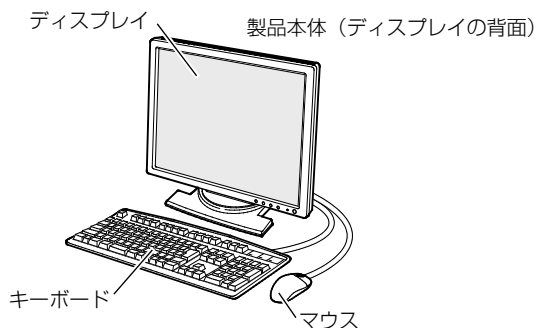
- ・ カスタムメイドのマウントキットを使用して取り付けられるのは、富士通製の 17 インチおよび 19~21 インチ液晶ディスプレイのみです。



重要

- ▶ カスタムメイドのマウントキットは、富士通製を除く液晶ディスプレイの搭載をサポートしていません。
- ▶ ディスプレイ背面の VESA 規格ネジ穴にディスプレイスタンドなどが取り付けられている場合は、カスタムメイドのマウントキットをご使用になれません。

■ 設置例

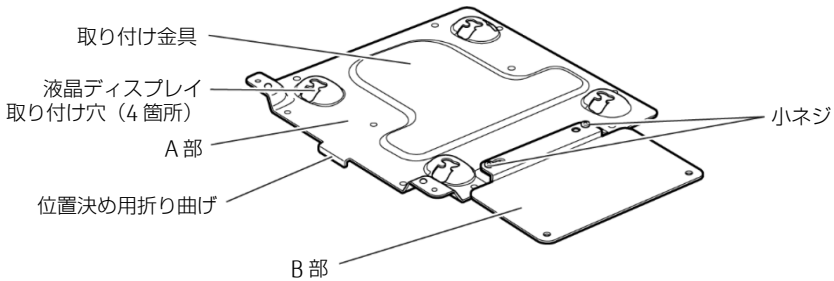


(周辺機器、ケーブル類は一部省略しています)

■ マウントキットを取り付ける

● 取り付け金具は次のように A 部と B 部から構成されています。

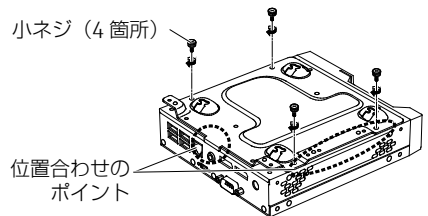
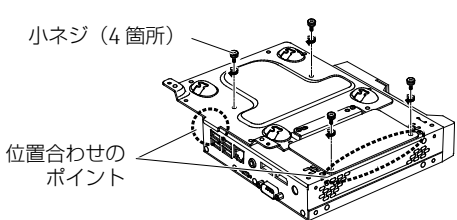
- ・ 17 インチ液晶ディスプレイに取り付ける場合は、そのままお使いください。
- ・ 19～21 インチ液晶ディスプレイに取り付ける場合は、A 部のみ使用します。小ネジ（2 箇所）を外し、B 部を取り外します。
- ・ 位置決め用折り曲げは、製品本体に取り付け金具を取り付ける際に、位置決め目安になるものです。



● 製品本体に取り付け金具を取り付けます。

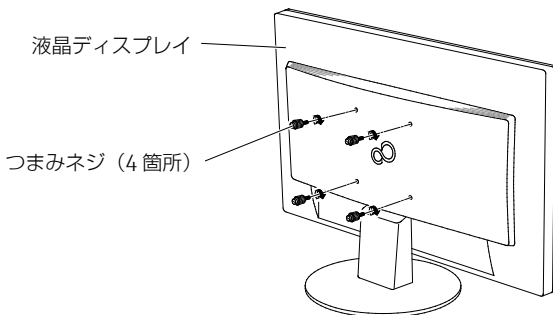
- 1 製品本体の背面コネクタの位置と取り付け金具の位置と向きを確認し、次の図のように合わせます。
- 2 取り付け金具の位置決め用折り曲げと端を製品本体の端に合わせます（次の図の位置合わせのポイントを参照してください）。
- 3 製品本体に添付の小ネジ（4 個）を取り付けます。

- 17 インチ液晶ディスプレイに取り付ける場合 □ 19～21 インチ液晶ディスプレイに取り付ける場合



● 液晶ディスプレイにつまみネジを取り付ける

製品に添付のつまみネジ（4 個）を、液晶ディスプレイ背面の VESA 規格ネジ穴に指で取り付けます。

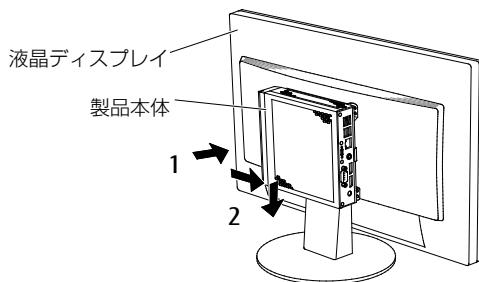
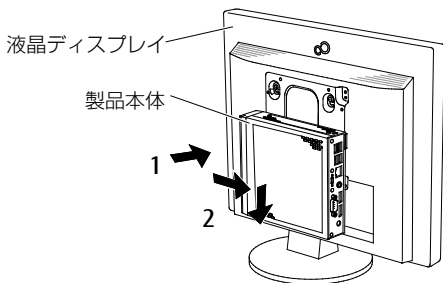


● 製品本体を液晶ディスプレイに取り付ける

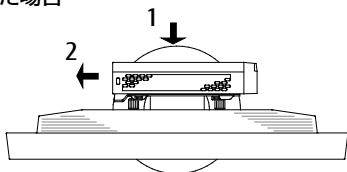
1 次の図をご覧になり、取り付け金具の取り付け穴（4箇所）をつまみネジに合わせて矢印の方向に取り付けます（上から見た場合も参考してください）。

2 右に少しずらした後、下に少しずらすとロックします。

- 17 インチ液晶ディスプレイに取り付ける場合 □ 19～21 インチ液晶ディスプレイに取り付ける場合



- 上から見た場合



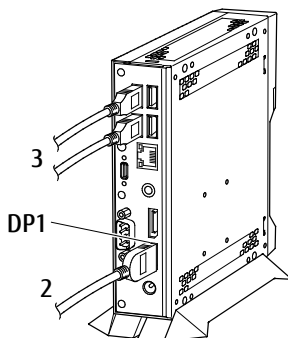
無線 LAN 搭載機種の場合は、次の点にも注意してください。

- 製品本体とアクセスポイントの間には、電波の障害になる物を置かないようにしてください。ラック収納時や、ディスプレイマウントキット、ディスプレイアームをご利用になるときは、特にご注意ください。

接続


ディスプレイ／キーボード／マウスを接続する

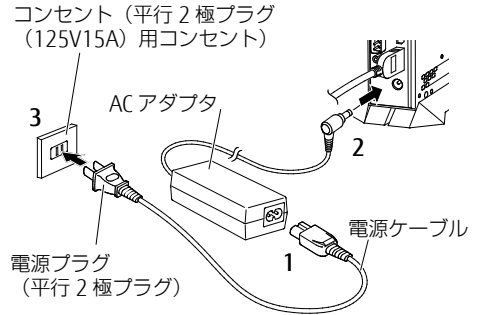
- 1 ディスプレイのマニュアルをご覧になり、ディスプレイに添付のケーブル類をディスプレイに接続します。
- 2 ディスプレイケーブルを製品本体に接続します。
ケーブルのコネクタと本体背面のラベル位置を確認し、コネクタの形を互いに合わせて接続します。DisplayPort コネクタ (DP1) に接続してください。
セットアップが完了するまで、接続するディスプレイは1台のみになしてください。
- 3 マウスとキーボードを製品本体に接続します。
USB マウスと USB キーボードを本体背面、または本体前面の USB コネクタに接続します。



(イラストは、状況によって異なります)

電源ケーブルを接続する

- 1 ACアダプタ本体に電源ケーブルを接続します。
- 2 ACアダプタのケーブルを製品本体背面のDC-INコネクタ()に接続します。
ACアダプタの重さでケーブルが引っ張られ、コネクタから抜けられないように注意してください。
- 3 電源プラグをコンセントに接続します。



セットアップ

注意事項

- Windows のセットアップが完了するまでは、次のものを接続または変更しないでください。
Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。
 - ・ 周辺機器
 - ・ 2 台目のディスプレイ
 - ・ BIOS の設定
 - セットアップは無線 LAN や有線 LAN に接続しない状態で行ってください。
インターネットに接続して Windows のセットアップを行うと、非常に時間がかかり 1 時間以上セットアップが進んでいないように見える場合があります。
 - セットアップは、キーボードおよびマウスで操作してください。
 - セットアップ中は、電源を切らないでください。
 - Windows セットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちに、キーを押したりすると、Windows セットアップが完全に行われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから操作してください。
 - セットアップで困ったときは
 - Windows セットアップが進められなくなった
電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切り、いったん電源ケーブルを抜いてください。30 秒以上待ってから再度電源ケーブルを接続し、電源を入れてセットアップをやり直してください。「リカバリ」(→P.19)を行ってください。
- POINT** ▶ セットアップ中に、「問題が発生しました やり直すことができます。」と表示された場合は、「やり直す」をクリックしてください。

セットアップする

ここで説明するセットアップ手順は、インターネットに接続しない方法です。ローカルアカウントでセットアップを行ってください。

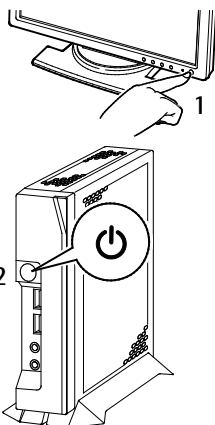
■ 初めて電源を入れる

- 1 ディスプレイの電源ボタンを押します。
- 2 製品本体の電源ボタン (⏻) を押します。

電源ランプが点灯したら、すぐに電源ボタンを離してください。画面に「FUJITSU」ロゴが表示され、自己診断 (POST) が始まります。

画面が表示されるまで、一時的に画面が真っ暗になることや変化がないことがありますが、故障ではありません。絶対に電源を切らずにそのままお待ちください。

起動時にエラーが表示された場合は、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』の「BIOS」または「トラブルシューティング」をご覧ください。



- 重要** ▶ Windows のロック画面が表示される前に、一時的に「入力信号がありません」と表示されることがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。

- POINT** ▶ 電源ボタンを長押しした場合の動作は、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』の「各部名称」 - 「2.1 製品本体前面」 - 「3 電源ボタン/電源ランプ」をご覧ください。

■ Windows 10

セットアップの説明画面が表示された場合、音声での案内が始まる場合があります。必要に応じて画面右下のスピーカーアイコンをクリックし、音量を調整してください。

- 1 お住まいの地域を確認する画面では、「はい」をクリックします。
- 2 キーボードレイアウトを確認する画面では、「はい」をクリックします。
- 3 2 つ目のキーボードレイアウトを追加する画面では、「スキップ」をクリックします。
- 4 ネットワークに接続する画面では、「今はスキップ」をクリックします。
- 5 「後で時間を節約するために今すぐ接続」の画面では、「いいえ」をクリックします。
- 6 ライセンス契約の画面では、内容をよく読み、「同意」をクリックします。
- 7 「この PC を使うのはだれですか？」画面では、次の項目を入力し、「次へ」をクリックします。
 - ・ユーザー名：ローカルアカウントを作成します。12 文字以内の半角英数字 (a~z, A~Z, 0~9) で入力してください。

- POINT** ▶ ローカルアカウントから Microsoft アカウントへ切り替える必要がある場合は、セットアップ完了後に行ってください。

- 8 「確実に覚えやすいパスワードを作成します」画面では、パスワードを入力し「次へ」をクリックします。
 - ・パスワード：12 文字以内の半角英数字 (a~z, A~Z, 0~9) で入力してください。
- 9 「パスワードの確認」画面では、前の手順と同じパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。
- 10 「このアカウントのセキュリティの質問を作成します」画面が表示されたら、画面の指示に従って操作します。
- 11 「速く安全にサインインするために Windows Hello を設定します」画面や顔認識および指紋認証を使用する画面が表示された場合は、「今はスキップ」をクリックします。

- 12「アクティビティの履歴を利用してデバイス間でより多くのことを行う」画面が表示されます。
Microsoft アカウントでアプリなどの使用状況を他のパソコンと同期する場合は「はい」を、同期する必要がない場合は「いいえ」をクリックします。
- 13「デバイスのプライバシー設定の選択」画面では、「同意」をクリックします。
Windows のセットアップが完了すると、Windows 10 のデスクトップが表示されます。

 **POINT**

▶ ライセンス認証手順

- ・インターネットに接続できる場合
インターネットに接続すると、自動的にライセンス認証が完了します。ライセンス認証のための操作は不要です。
- ・インターネットに接続できない場合
「スタート」ボタン→「Windows システム ツール」→「コマンドプロンプト」を右クリックし、「その他」→「管理者として実行」をクリックします。ユーザーアカウント制御ウィンドウが表示された場合、「はい」をクリックします。
「slui.exe 4」と入力し、画面の指示に従ってライセンス認証を行ってください。

VDI（仮想デスクトップ）関連のアプリのインストール

■ 次のアプリをインストールしてください。

次のアプリはインストールされていません。お使いになる場合は、アプリをインストールしてください。

- VMware Horizon Client
- Citrix Workspace app for Windows

 **重要**

▶ お使いになるアプリのみをインストールしてください。

■ インストール方法

お使いになるアプリのデスクトップ上のアイコンをダブルクリックします。

アプリの画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

セットアップ後

■ ご使用になる前に、次の設定を必ず行ってください。

インターネット上のマニュアルなどをご覧になって、操作や設定を行い、本製品をお使いください。

□ 書込保護機能の設定 → 『製品ガイド』 - 「本製品の特長」

本製品には書込保護機能がありますが、ご購入時は無効になっています。そのため、次の設定を行った後に書込保護機能の設定を有効にして、設定内容を保護してください。

- パスワードの設定
- ソフトウェアの追加または削除
- OS のライセンス認証
- OS やソフトウェアなどの設定変更
- 周辺機器のドライバーやユーティリティの追加または削除
- 修理のため交換した部品の設定

(交換により、デバイスの再認識が必要になる場合があります)。

□ 管理者アカウントのパスワード設定

□ Portshutter のパスワード設定 → 「リカバリディスク」内のマニュアル

□ VMware Horizon® Client

次の URL の内容を確認したうえでご使用ください。

VMWARE エンド ユーザー使用許諾契約書

https://www.vmware.com/jp/download/eula/universal_eula.html

■ その他の設定

これ以降の設定には、インターネットの接続が必要になるものがあります。

インターネット上のマニュアルなどをご覧になって操作や設定を行い、本製品をお使いください。

□ 無線 LAN → 機能別マニュアル

これらの機能を使用するためには、インターネット上のマニュアルをご覧ください。

ご使用にあたって、次のマニュアルの該当箇所を印刷しておくことをお勧めします。

□ BIOS パスワード、お手入れ → 『製品ガイド』

□ キーボード操作で電源を入れる → 『製品ガイド』

マウントキットを使用する場合などに、キーボードの任意のキーを押して電源を入れることができます。

本操作は、BIOS 設定を変更する必要があります (ご購入時は使用できない設定になっています)。

詳しくは『製品ガイド』の「各部名称」 - 「2.1 製品本体前面」 - 「3 電源ボタン/電源ランプ」をご覧ください。

■ BIOS やドライバーのアップデート

本製品をより快適にご利用いただくために、常に最新の BIOS やドライバーへアップデートをお願いします。

□ BIOS やドライバーのアップデートについて → 『製品ガイド』

■ トラブル発生時の対処

トラブルの発生時に備えて、事前に次の『製品ガイド』の該当箇所を印刷しておくことをお勧めします。

● 「トラブルシューティング」 - 「トラブル発生時の基本操作」 - 「診断プログラムを使用する」

Windows が起動しなくなった場合、診断プログラムを使用し、障害箇所を診断できます。

● 「トラブルシューティング」 - 「よくあるトラブルと解決方法」 - 「起動・終了時のトラブル」

起動時にエラーメッセージが表示されたり、ピープ音が鳴った場合の対処方法が記載されています。

■ 運用上の注意

本製品では、ディスクの構成は絶対に変更しないでください。
正しくシステムが保護されなくなります。

リカバリ

本製品をリカバリする方法を説明します。

リカバリは、Windows が起動しないなどの問題が発生した場合に行います。

リカバリの考え方

リカバリとは、CドライブのOS、ドライバーなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態に戻す操作です。「リカバリディスク」を使って、全ドライブをご購入時の状態に戻します。

注意事項

- ディスクの構成は絶対に変更しないでください。正しくシステムが保護されなくなります。
- リカバリを行うと、Cドライブを含むすべてのデータが削除されます。必要に応じて事前にバックアップしてください。
- 製品本体にUSBメモリ、外付けハードディスクなどの周辺機器（光学ドライブを除く）を接続している場合は、必ず取り外してください。
- キーボードまたはマウスで操作してください。
- リカバリには時間がかかります。時間に余裕をもって、操作してください。

リカバリ前の準備

リカバリを実行する前に、次の準備を行ってください。

■ BIOS 設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定をご購入時から変更している場合、ご購入時の状態に戻します。詳しくは、『製品ガイド』をご覧ください。

■ 光学ドライブを接続する

リカバリを行うときには、光学ドライブを接続してください。

■ ディスクを用意する

・リカバリディスク

リカバリを実行する

- 1 【F12】キーを押したまま、本製品の電源を入れます。
- 2 「FUJITSU」のロゴが表示された後、起動メニューが表示されたら【F12】キーを離します。

POINT

- ▶ 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
- ▶ 起動メニューが表示されず Windows が起動してしまった場合は、製品本体の電源を切ってもう一度操作してください。

- 3 「リカバリディスク」をセットします。
 1. ディスクをセットしたまま、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して、本製品の再起動を行い、続けて【F12】キーを押します。
 2. 「FUJITSU」のロゴが表示された後、起動メニューが表示されたら【F12】キーを離します。
- 4 データの読み出しが終了し、光学ドライブが停止してから、カーソルキーでディスクをセットした光学ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。

そのまましばらくお待ちください。「ディスク全体をご購入時の状態に戻す」が表示されます。
- 5 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

- 6 「リカバリディスクセットの確認」で「次へ」をクリックします。
- 7 「ハードディスクの領域を設定します」では表示されるメッセージに従って、「次へ」をクリックします。
「リカバリ」画面が表示され、リカバリが始まります。
リカバリが終了すると、「リカバリが完了しました。」というメッセージが表示されます。
- 8 ディスクを取り出します。
- 9 「完了」をクリックします。
本製品の電源が自動的に切れます。
- 10 光学ドライブを取り外します。
- 11 30 秒以上待ってから電源を入れます。
- 12 セットアップを行います。
詳しくは、「セットアップ」(→P.15)をご覧ください。

以上でリカバリは終了です。

お問い合わせ先

インターネット上のマニュアルをご覧になっても不明な点がございましたらお問い合わせください。
お問い合わせの前に、製品本体のラベルまたは保証書に記載されている、型名 (MODEL)、製造番号 (SERIAL)、16 桁の数字 (0000-0000-0000-0000) または (0000000-00-0000-000) をご確認ください。

技術的な ご質問・ご相談	ご購入元 (販売会社、または弊社の担当営業・SE) にご相談ください。 個人のお客様など、ご相談先が不明の場合は、以下の窓口へお問い合わせください。 富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口 (運営: 富士通クライアントコンピューティング株式会社) 通話料無料: 0120-950-222 受付時間: 9:00 ~ 17:00 (土曜、日曜、祝日およびシステムメンテナンス日を除く) ※受付後に、専門技術員からのコールバックとなります。
ハードウェアの 故障・修理	富士通ハードウェア修理相談センター 通話料無料: 0120-422-297 受付時間: 9:00 ~ 17:00 (土曜・日曜・祝日および年末年始を除く)
富士通サプライ品 のご購入	富士通コワーコ株式会社 お客様総合センター 通話料無料: 0120-505-279 受付時間: 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:30 (土曜・日曜・祝日および年末年始を除く) URL: https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/

部品交換時の注意事項

部品交換後に、再起動を促すメッセージが繰り返し表示されることがあります。これは、本製品の書込保護機能が有効になっていて、交換部品 (デバイス) の認識を保存できないためです。

このような場合は、一度書込保護機能を解除して再起動し、交換部品が認識されたことを確認してから書込保護機能を有効にしてください。書込保護機能の設定方法については、『製品ガイド』をご覧ください。

FUTRO

取扱説明書

B6FK-3131-02-00

発行日: 2021 年 1 月

発行責任: 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しく下さい。